

週刊 SSH (8月6・7日)

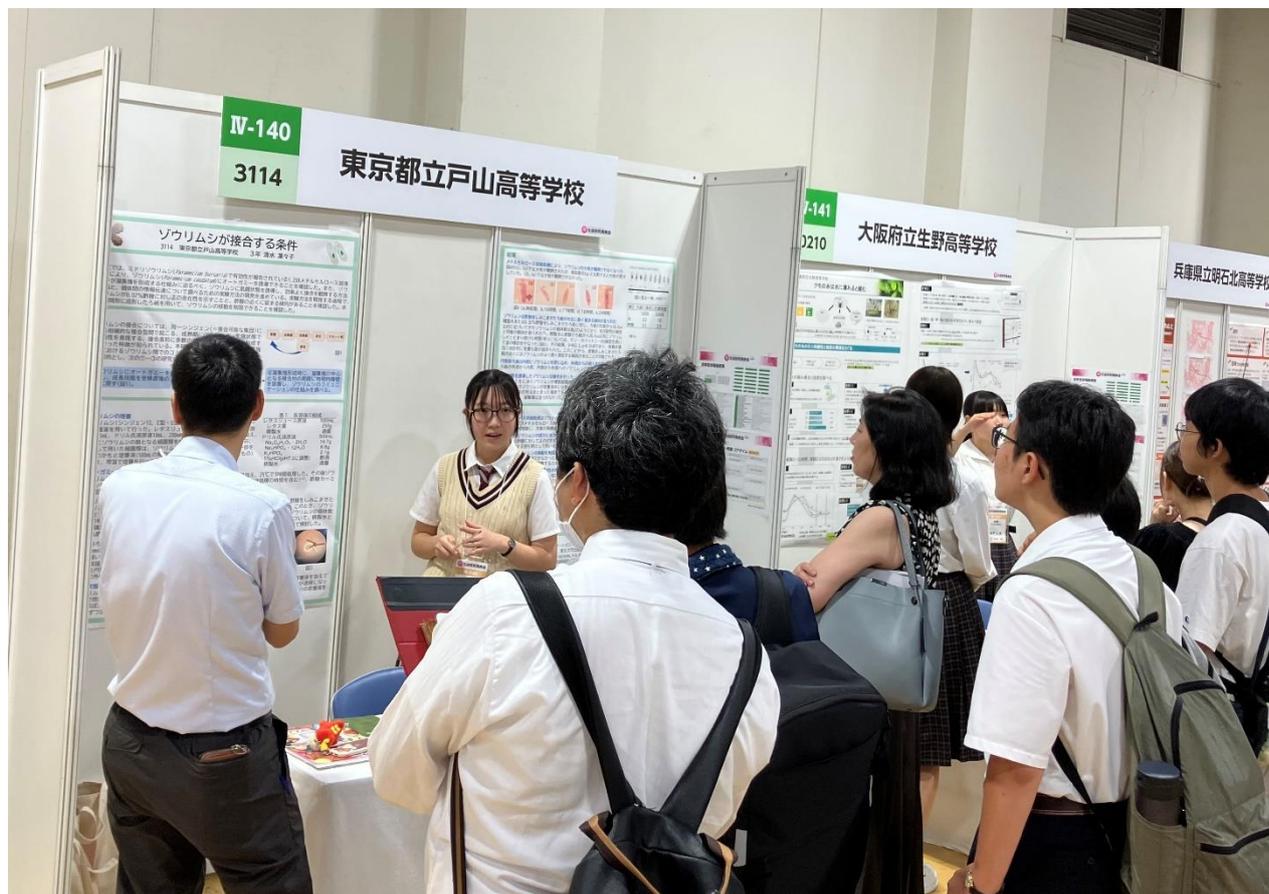
## SSH 生徒研究発表会

8月6・7日の二日間にわたり、神戸国際展示場にて SSH 生徒研究発表会が行われました。SSH 生徒研究発表会は、スーパーサイエンスハイスクールに指定されている学校の生徒が日頃行っている課題研究の成果を発表する場です。この発表会は、生徒の科学技術に対する興味・関心を高め、SSH の成果を広く発信する目的で開催されます。戸山高校からは、3年生1名が発表者として、また2年生2名が見学者として参加しました。

### 【発表者3年生】

SSH III の節目として臨んだ今回の発表会は、終えた直後から「次の実験をしたい」と思うほど多くの学びを得る機会となりました。また、複数人での大量データ収集や解析ソフトの自主開発など、工夫された研究手法に触れたことで、自身の研究の反省にも繋がりました。

今回で SSH III の活動は一区切りとなりますが、生物系の研究者を志望する身として、SSH の枠を超え、今後の人生にも生きる貴重な経験ができてよかったと思っています。



【見学者2年生】

SSH 生徒研究発表会を見学し、同世代の高校生が企業やメディアと連携して高度な研究や商品開発に取り組んでいることに大きな刺激を受けました。ポスターは視認性に優れ、説明には明確な因果関係とストーリー性があり、内容の理解が深まりました。図や研究の進捗状況も的確に示され、聞き手を引き込む発表に感銘を受けました。

今回得た学びを今後の自身の研究に積極的に活かしていきたいと考えています。



【見学者2年生】

今までに参加したどの発表会よりもレベルが高く、本当に参考になりました。過去に自分で発表を行った際、背景や実験どうしの繋がりの説明、データの統計的処理、実験結果と数式のフィッティングなどを課題として認識していました。今回の発表会では、それらについてお手本となるような発表を多く見ることができ、このことが見学を通しての1番の成果だと思います。